| 学校番号 | ３０２０ |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | 数学Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 新編 数学Ⅰ　Flex　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | アクセスノート 数学Ⅰ 新訂版（実教出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は、内容の理解、問題演習、発表という形で進んでいきます。
・補充プリントも追加していきますので、整理用のファイルを準備してください。
・問題集も授業の進度に合わせて、解答していってください。
・問題を解くときにはじっくり考えて、丁寧に、初めて見る人であっても考え方が理解できるように途中式を省略せずに完成してください。
・定期考査ごとにノート、問題集を提出してもらいます。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　数と式、二次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
　命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 数と式、２次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。 | 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする。２つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 | 数と式、２次関数を通して数学の良さを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| １学期 | 式の計算 | 整式とその加法・減法<br>整式の乗法<br>因数分解 | a:乗法公式、因数分解の公式の意味や複雑な式が簡単に帰着できることを理解するとともに、式を目的に応じて変形することができる。<br>b:学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>補充プリント<br><br>レポート | |
| | 実数 | 実数<br>根号を含む式の計算 | a:数を実数まで拡張することの意義や実数が数直線上の点と１対１に対応していることを理解するとともに、簡単な無理数の計算ができる。<br>b:身近にある無理数の値や比に用いられる無理数の性質や特徴について考察することができる。<br>c:身近にある無理数の値や比に用いられる無理数に興味を持ち、その性質や特徴について調べることができる。 | | | ノート<br><br>問題集<br><br>振り返りシート<br><br>レポート<br>発表 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 1次不等式 | 不等号と不等式<br>不等式の性質<br>１次不等式 | a:１次不等式の解を求めることができる。<br>b:不等式の理解を深め、式を多面的に捉えて問題を考察することができる。<br>c:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、１次不等式を問題解決に活用しようとしている。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>補充プリント<br><br>レポート | |
| | 2次関数とそのグラフ | 関数とグラフ<br>２次関数のグラフ<br>２次関数の最大・最小 | a:２次関数の値の変化やグラフの特徴について理解しており、平行移動を利用して２次関数のグラフを描くことができる。<br>b:２次関数の式とグラフについての理解を深め、多面的に考察することができる。<br>c:２次関数とそのグラフの性質や特徴について関心をもち、それらを２次関数の考察に活用しようとしている。 | | | ノート<br><br>問題集<br><br>振り返りシート<br><br>レポート<br>発表 |
| 3学期 | 2次方程式と2次不等式 | ２次関数のグラフと２次方程式<br>２次関数のグラフと２次不等式 | a:２次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し、最大値や最小値、２次方程式・２次不等式の解を求めることができる。<br>b:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり考察したりすることができる。<br>c:２次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し、値の変化や２次方程式・２次不等式の考察に活用しようとしている。 | 定期考査<br><br>小テスト | 定期考査<br><br>補充プリント<br><br>レポート | ノート<br><br>問題集<br><br>振り返りシート<br><br>レポート<br>発表 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度